



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月7日

上場会社名 株式会社 ほくやく・竹山ホールディングス 上場取引所 札
 コード番号 3055 URL <https://www.hokutake.co.jp/>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）真鍋 雅信
 問合せ先責任者 （役職名）取締役管理統括本部長 （氏名）親松 和史 TEL 011-633-1030
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無： 無
 決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切り捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	76,302	3.1	361	△22.1	673	△12.3	396	△40.7
2026年3月期第1四半期	74,003	5.0	464	△10.7	767	2.1	668	29.1

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 △260百万円（△134.4%） 2026年3月期第1四半期 757百万円（41.3%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	19.28	—
2026年3月期第1四半期	31.82	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	159,340	64,197	40.3	3,122.19
2026年3月期	155,685	64,663	41.5	3,144.85

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 64,180百万円 2026年3月期 64,646百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	10.00	—	10.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	152,000	2.4	750	△17.6	950	△27.2	500	△56.3	23.93
通期	310,000	2.1	1,800	6.5	2,350	△2.8	1,150	△31.7	55.04

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2027年3月期1Q	24,400,000株	2026年3月期	24,400,000株
2027年3月期1Q	3,843,880株	2026年3月期	3,843,808株
2027年3月期1Q	20,556,138株	2026年3月期1Q	21,017,053株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 当四半期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかに回復しておりますが、中東情勢をはじめとする地政学的リスクについては不透明な状況が続いております。北海道経済におきましては、全体として緩やかに持ち直している一方で、住宅投資や生産活動などに弱い動きがみられ、先行きについては慎重な判断が求められる状況となっております。

当社グループが事業展開する医療・介護を中心としたヘルスケア分野におきましては、今般厚生労働省から新たな地域医療構想のガイドラインが発表され、各構想区域内での持続可能なサービス提供体制の確立が急務となっております。

このような事業環境の中、当社グループは経営方針に「地域包括ヘルスケア企業の実現」を掲げ、経営戦略として、グループの連携強化と地域課題の解決を図る「エリアサミットの推進」と「DXの推進」に取り組んでおります。加えて、2026年9月の設立20周年を「第二の創業」と位置づけ「TSUMUGU HOLDINGS」に社名を変更いたします。新社名の下、グループ各社の強みを「紡ぎ」合わせ、競争力を一層高めてまいります。

当第1四半期は、これら経営戦略の具現化および事業基盤の強化を推進し、介護事業の株式会社マルベリーでは、2026年5月、留萌市内の介護事業所の貸与事業部門より福祉用具貸与事業の譲受契約を締結し同地域でのサービス提供基盤を拡充いたしました。また、医療機器卸売事業の株式会社竹山においてはWingcopter社の最新ドローン「W198」を導入し、次世代の医療物流の構築に向けた取り組みを一層加速いたしました。

以上の状況のもと、当第1四半期連結累計期間における売上高は763億2百万円（前年同期比3.1%増）と、第1四半期として過去最高を更新いたしました。営業利益は、全社的なセキュリティ強化への投資の影響があり3億61百万円（同22.1%減）、経常利益は6億73百万円（同12.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前第1四半期に計上した投資有価証券売却益の反動減もあり、3億96百万円（同40.7%減）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

（医薬品卸売事業）

医薬品卸売事業におきましては、2026年4月に実施された薬価改定の影響に加え、後発医薬品における供給面での混乱や、長期収載品の売上減少傾向が依然として継続するなど、引き続き厳しい経営環境で推移いたしました。このような状況の下、抗がん剤を中心とした「革新的新薬薬価維持制度」対象品目の販売に注力して取り組んだ結果、売上高は前年同期を上回りました。一方、利益面につきましては、仕入原価の上昇に加え、セキュリティ体制の強化および基幹システムの刷新に伴う経費が増加したことなどにより、減益となりました。

その結果、売上高は571億71百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益は4億2百万円（同10.6%減）となりました。

（医療機器卸売事業）

医療機器卸売事業におきましては、国立大学病院をはじめとする基幹病院において厳しい経営環境が継続したことから、備品の販売が対前年同期比83.8%と大幅に減少しました。一方で、主要得意先における手術や検査などの症例件数が引き続き増加傾向にあり、消耗品販売が堅調に推移したことから、売上全体では前年同期を上回りました。利益面につきましては診療報酬改定に伴う医療材料の価格交渉等の影響を受け、仕入単価が増加しましたが、売上増加に伴い前年同期を上回りました。

その結果、売上高は169億60百万円（前年同期比2.3%増）、営業利益は1億53百万円（同8.1%増）となりました。

（薬局事業）

薬局事業におきましては、2026年4月に薬価改定、2026年6月に調剤報酬改定が実施されました。売上では、地域支援・医薬品供給対応体制加算などの要件が厳しくなり技術料単価は0.2%減少しましたが、高額医薬品の処方により薬剤料単価は2.0%上昇し、結果として処方箋単価は1.5%の上昇となりました。一方、処方箋枚数は登別に1店舗開局したものの、医療機関の閉院、地域の人口減少等により4.1%の減少となり、減収となりました。利益につきましては、処方箋枚数の減少や調剤報酬改定の影響に加え、セキュリティ関連の導入費用、人員の入れ替えによりコストが増大したことなどにより減益となりました。

その結果、売上高は30億44百万円（前年同期比2.7%減）、営業損失は71百万円（前年同期は営業損失40百万円）となりました。

（介護事業）

介護事業におきましては、福祉用具レンタルにおいて、最適な福祉用具の提案からモニタリングまで一貫した顧客重視の提案型営業を実施し利用者が増加しました。また、福祉施設における営業の強化により、特殊寝台など備品の販売が増加したほか、サービス付き高齢者向け住宅においても入居率が計画通りに推移し、売上は増収となりました。一方、利益面につきましては、給与改定に伴う人件費の増加や仕入コストの上昇が重なり減益となりました。

その結果、売上高は11億46百万円（前年同期比5.2%増）、営業利益は13百万円（同79.9%減）となりました。

（ICT事業）

ICT事業におきましては、ライセンス、保守契約および機器更新需要が堅調に推移いたしました。また、一般企業向けの機器刷新において需要の前倒しが増収に寄与し、売上は前年同期を上回りました。利益面につきましては、例年第1四半期は低利益率のハードウェア販売案件が中心となるため営業損失となりましたが、前述の積極的な販売活動により損失額は縮小いたしました。

その結果、売上高は5億8百万円（前年同期比27.5%増）、営業損失は1百万円（前年同期は営業損失3百万円）となりました。

（その他事業）

その他事業（子会社の経営指導等）におきましては、売上高は10億26百万円（前年同期比6.0%減）、営業利益は6億29百万円（同9.6%減）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結累計期間末の資産、負債及び純資産は、前連結会計年度末との比較において以下のとおりとなりました。

総資産は1,593億40百万円（前連結会計年度末は1,556億85百万円）となり、36億55百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が21億31百万円、受取手形及び売掛金が15億5百万円、商品及び製品が14億57百万円増加した一方、投資有価証券が8億87百万円減少したことによるものです。

負債は951億43百万円（前連結会計年度末は910億21百万円）となり、41億21百万円増加しました。これは主に、支払手形及び買掛金ならびに電子記録債務の支払債務が41億68百万円、賞与引当金が5億97百万円増加した一方、未払法人税等が4億55百万円、繰延税金負債が3億12百万円減少したことなどによるものです。

純資産は、641億97百万円（前連結会計年度末は646億63百万円）となり、4億65百万円減少しました。これは主に、利益剰余金が1億90百万円増加した一方、その他有価証券評価差額金が6億39百万円減少したことによるものです。

（3）当四半期のキャッシュ・フローの概況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ21億31百万円増加し、192億20百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は25億58百万円（前年同期比5.4%減）となりました。これは、増加要素として税金等調整前四半期純利益6億72百万円（同33.8%減）、仕入債務の増加41億68百万円（同4.0%増）、減価償却費3億16百万円（同13.5%増）、賞与引当金の増加5億97百万円（同4.5%増）、未収歩戻金の減少6億72百万円（同287.8%増）などがありましたが、減少要素として売上債権の増加15億6百万円（同47.3%減）、棚卸資産の増加14億58百万円（前年同期は2億5百万円の減少）、法人税等の支払7億84百万円（前年同期比24.2%増）があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は2億31百万円（前年同期比44.1%減）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1億51百万円（同80.9%減）および無形固定資産の取得による支出76百万円（同382.9%増）によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は1億95百万円（前年同期比2.1%増）となりました。これは主に配当金の支払1億67百万円（同1.9%減）およびリース債務の返済26百万円（同35.9%増）があったことによるものです。

（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月15日の決算短信で公表しました第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,089	19,220
受取手形及び売掛金	62,199	63,705
商品及び製品	19,238	20,695
仕掛品	2	3
その他	9,023	8,464
貸倒引当金	△43	△43
流動資産合計	107,509	112,047
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,459	12,356
土地	11,807	11,828
建設仮勘定	200	136
その他（純額）	1,137	1,188
有形固定資産合計	25,605	25,510
無形固定資産		
のれん	420	402
ソフトウェア	453	440
その他	366	429
無形固定資産合計	1,241	1,272
投資その他の資産		
投資有価証券	19,412	18,524
長期売掛金	121	121
破産更生債権等	0	0
長期貸付金	161	158
繰延税金資産	380	430
退職給付に係る資産	454	463
その他	870	884
貸倒引当金	△74	△74
投資その他の資産合計	21,329	20,510
固定資産合計	48,176	47,293
資産合計	155,685	159,340

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	78,870	82,122
電子記録債務	3,464	4,380
1年内返済予定の長期借入金	1	1
未払法人税等	818	362
賞与引当金	981	1,579
役員賞与引当金	97	31
その他	2,704	2,857
流動負債合計	86,938	91,335
固定負債		
長期借入金	9	8
繰延税金負債	2,611	2,298
再評価に係る繰延税金負債	123	123
退職給付に係る負債	57	58
長期末払金	509	540
資産除去債務	499	501
その他	272	276
固定負債合計	4,083	3,807
負債合計	91,021	95,143
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	11,821	11,821
利益剰余金	46,282	46,473
自己株式	△2,862	△2,862
株主資本合計	56,242	56,433
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,800	8,160
土地再評価差額金	△717	△717
退職給付に係る調整累計額	320	303
その他の包括利益累計額合計	8,403	7,746
非支配株主持分	17	17
純資産合計	64,663	64,197
負債純資産合計	155,685	159,340

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2026年 4 月 1 日 至 2026年 6 月30日)
売上高	74,003	76,302
売上原価	68,749	70,854
売上総利益	5,253	5,448
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	293	307
給料及び手当	2,073	2,190
賞与引当金繰入額	512	539
役員賞与引当金繰入額	30	31
退職給付費用	77	56
法定福利費	403	423
賃借料	71	72
その他	1,325	1,464
販売費及び一般管理費合計	4,789	5,086
営業利益	464	361
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	174	218
不動産賃貸料	39	40
持分法による投資利益	30	32
貸倒引当金戻入額	51	0
その他	50	62
営業外収益合計	346	355
営業外費用		
支払利息	0	0
不動産賃貸原価	25	26
遊休資産諸費用	10	11
その他	7	4
営業外費用合計	43	43
経常利益	767	673
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	259	—
特別利益合計	259	0
特別損失		
固定資産除却損	10	0
特別損失合計	10	0
税金等調整前四半期純利益	1,015	672
法人税、住民税及び事業税	522	349
法人税等調整額	△175	△73
法人税等合計	346	276
四半期純利益	668	396
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	668	396

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
四半期純利益	668	396
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	87	△639
退職給付に係る調整額	0	△16
その他の包括利益合計	88	△656
四半期包括利益	757	△260
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	756	△260
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第1 四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1 四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,015	672
減価償却費	278	316
のれん償却額	27	20
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△55	△0
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△22	△18
賞与引当金の増減額（△は減少）	571	597
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△109	△66
受取利息及び受取配当金	△175	△219
支払利息	0	0
持分法による投資損益（△は益）	△30	△32
固定資産売却損益（△は益）	△0	△0
固定資産除却損	10	0
投資有価証券売却損益（△は益）	△259	—
売上債権の増減額（△は増加）	△2,855	△1,506
棚卸資産の増減額（△は増加）	205	△1,458
仕入債務の増減額（△は減少）	4,009	4,168
未払消費税等の増減額（△は減少）	294	65
未収歩戻金の増減額（△は増加）	173	672
預り金の増減額（△は減少）	22	11
その他	57	△104
小計	3,157	3,118
利息及び配当金の受取額	179	223
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△631	△784
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,705	2,558
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△793	△151
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△15	△76
無形固定資産の売却による収入	0	—
投資有価証券の取得による支出	△6	△4
投資有価証券の売却による収入	405	—
事業譲受による支出	—	△2
貸付金の回収による収入	3	3
固定資産の除却による支出	△6	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△413	△231
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△0	△0
自己株式の増減額（△は増加）	—	△0
配当金の支払額	△170	△167
リース債務の返済による支出	△19	△26
財務活動によるキャッシュ・フロー	△191	△195
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	2,100	2,131
現金及び現金同等物の期首残高	17,739	17,089
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,839	19,220

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1 前第1四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年6月30日）

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	医薬品卸売事業	医療機器卸売事業	薬局事業	介護事業	I C T事業	その他事業	
売上高							
外部顧客への売上高	53,160	16,475	3,127	1,088	143	8	74,003
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,086	110	2	0	255	1,083	3,539
計	55,246	16,586	3,129	1,089	398	1,092	77,542
セグメント利益又は損失(△)	450	141	△40	67	△3	696	1,312

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（百万円）
報告セグメント計	1,312
セグメント間取引消去	△797
のれんの償却額	△23
棚卸資産の調整額	△27
四半期連結損益計算書の営業利益	464

(3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

2 当第1四半期連結累計期間（自2026年4月1日 至2026年6月30日）

（1）報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						合計
	医薬品卸売事業	医療機器卸売事業	薬局事業	介護事業	I C T事業	その他事業	
売上高							
外部顧客への売上高	55,182	16,788	3,040	1,143	138	8	76,302
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,989	171	3	2	370	1,017	3,554
計	57,171	16,960	3,044	1,146	508	1,026	79,857
セグメント利益又は損失（△）	402	153	△71	13	△1	629	1,125

（2）報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（百万円）
報告セグメント計	1,125
セグメント間取引消去	△721
のれんの償却額	△14
棚卸資産の調整額	△27
四半期連結損益計算書の営業利益	361

（3）報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。